

令和3年11月18日
環境政策部
環境計画課

「若者環境フォーラム」の実施結果について

1 主旨

若者たちが主体となって深刻化する気候危機問題を議論し、一人ひとりが「自分事」として捉え、環境に配慮した行動変容にどうつなげていくかを考える機会として、中学生・高校生・大学生を対象にフォーラムを開催したため、その結果を報告する。

2 日時

令和3年10月30日（土）午後3時～午後5時

3 実施方法

オンライン（Zoom ウェビナー）による開催

4 内容

テーマ『気候危機に対して、私たち一人ひとりができること』

(1) 概要説明等

東京都市大学 ISO 学生委員会、夢キャンコミュニケーター

(2) パネルディスカッション

モデレーター：NPO 法人新宿環境活動ネット 代表理事 飯田 貴也様

パネリスト：中学生・高校生・大学生

- ・世田谷区立用賀中学校、千歳中学校（SDGs ベーシックプログラム実施校）
- ・SDGs 子ども勉強会プロジェクト
- ・アオミドリ（希望丘青少年交流センター登録サークル）
- ・Green Sophia（上智大学環境保護サークル）

(3) 講評

世田谷区長 保坂 展人

5 参加者数

35名（その他、YouTube ライブにて20名が視聴）

6 フォーラムにおける主な意見

- ・服のリサイクルやフードロスの削減など、身近なことから取り組んでいきたい。
- ・自分たちの行動がどう影響しているのか、現地を見ること、世界を知ることが大切。
- ・1人の100歩より、100人の1歩。さらに、2歩、3歩と伸ばしていきたい。
- ・今回の団体同士の集まりにより、活動のモチベーションが上がった。
- ・楽しみながら、環境活動の輪を広げていきたい。
- ・区職員向けの環境に関する研修を充実させ、区の内側からも変わってほしい。